

## I. 点検・評価シート：応用基礎レベル

別添のファクトシート（I. 学部全体、II. 授業科目別）をご参照の上、以下の項目についてご検討・ご記載下さい。

学部名：健康データサイエンス学部

評価日：令和8年 5 月 19 日

| 点検・評価項目   | 参考資料<br>(ファクトシート)    | 点検結果（コメント等）  | 評価 |
|---|----------------------|--|----|
| <b>A：履修状況</b><br>・履修者数・履修率、目標の達成状況<br>・学生の履修を高めるための取組<br>・（学生の学修成果の把握）*   | I-1, 5<br>II-1, 5    | ・健康データサイエンス学部では20の科目が対象となる。本学部においてはこれらの科目は教育の根幹をなすものであり、すべてが必修である。このため履修率はほぼ100%で、累計終了率も84.3%と高くなっている。   | S  |
| <b>B：プログラムに対する学生の評価</b><br>・学生の理解度、満足度は十分か<br>・（後輩他への推奨度）*  | I-2, 3<br>II-2, 3, 6 | ・理解度の平均点はどの科目も4点程度である。一方、満足度については全体としては高いものの、ややばらつきがあり、一部の難易度が高い科目においてはやや低くなっている。これは科目の性質上やむを得ないと思われる。   | S  |
| <b>C：プログラムの構成・内容、指導の工夫</b><br>・学ぶ楽しさ、学ぶ意義を教える授業となっているか<br>・内容・水準を維持・向上しつつ、より「わかりやすい」授業となっているか<br>・学生の理解やスキルの獲得を助けるための工夫 | I-4, 6<br>II-4, 6    | ・多くの授業で、実データを用いた演習を導入する、十分な演習時間を確保するなど、学生の興味を高めるための工夫が行われており、学生の評価も一般に高い。一方で、難易度の高い一部の科目においては評価が低くさらなる工夫が必要である。  | A  |
| <b>D：質問・相談等への対応</b><br>・学生からの質問・相談に対応する体制は確保されているか<br>・授業課題や学生の参加に対し、効果的なフィードバックを行ったか。                                  | I-5, 6<br>II-5, 6    | ・多くの授業で質問のための時間をとるなど、工夫が行われている。大半の科目で肯定的評価が80%を超える。一方で、一部の高度な科目においては肯定的評価が70%をきるものもあり、より高度な質問対応の体制を整備する必要がある。  | A  |
| <b>E：修了生の進路・評価</b><br>・（教育プログラム修了者の進路・活躍状況）   | —                    | ・プログラム開始1年目であり、修了生が卒業していない。今後、各種アンケートを通じてプログラム修了生の進路、活躍状況等の情報を把握し、評価することとする。   | F  |
| <b>F：学外からの評価</b><br>・（プログラム修了者に対する企業等の評価）*<br>・（教育プログラム内容・手法等に関する外部意見）*   | —                    | ・現時点では、本プログラムに対する外部意見を把握できていない。今後、本学全体の「外部評価プロセス」を活用しながら、本プログラムの妥当性・有効性に関する外部意見を聴取することとする。<br>・数理・データ科学教育研究センターで企業と連携したコンペティションやセミナー等を企画する予定であり、そうした機会を通じて企業から本プログラムの評価を聴取することとする。 | F  |

注：「\*」を付した項目は、点検・評価の全体会議、その他の学内関係委員会などで今後検討します。

### 【評価の基準】

S：高水準にある/目標以上の成果があった

A：ある程度の水準にある/ある程度の成果があった



B：不十分な水準にある/改善が必要である

F：判断材料の不足により判断できない